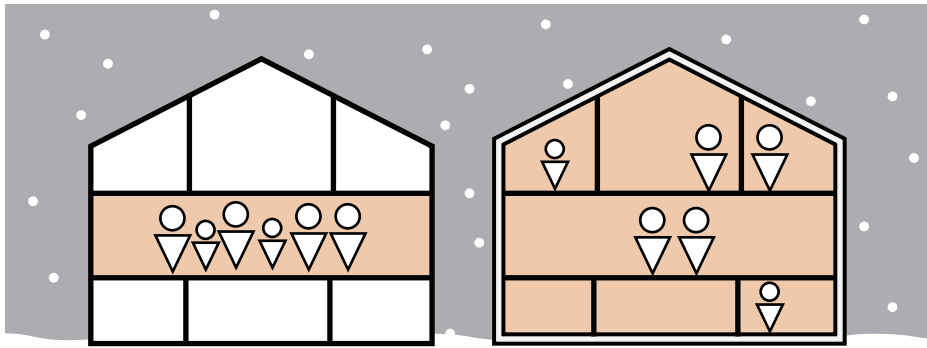


断熱等性能等級 4

本当の意味で空間を広く使える。



冬は暖房が効いてるリビングが唯一の安らげる場所になりますよね。
でも、トイレに行きたくなくて廊下に出ると寒い…
リビングからトイレの行き来は、つい早足に。

だからこそ、断熱を気にされると思います。
この断熱の性能を示す基準として「断熱等性能等級」があります。
「断熱等性能等級」が高ければ、それだけ建物の断熱性能が上がることです。
「断熱等性能等級」は全部で4段階あり、「断熱等性能等級4」が
一番高い等級となります(地域ごとに基準あり)。

「断熱等性能等級4」であれば、リビングの一部だけで縮こまって暮らす、
なんていう状況を改善できるかもしれません。
断熱性能が確保されていれば、リビングだけでなく、廊下やトイレ、更にはお風呂上がりの洗面脱衣所、
寝室も温度の差を気にせずにいることができます。

つまり、リビングだけでなく全体的にお家の空間を広く使えるようになるということです。

